

まちづくりしちゃり～

私の自転車「ブルーサンダー号」は私の足となって活躍しています。彼のおかげで日々いろんなことを学んでいます。この便利になった世の中、「自動車や電車があるじゃないか！なんで今さら自転車？」なんておっしゃる方も少なくはないと思いますが、私はあえて「自転車」を用いた「まちづくり」を行なうことを提案します。そこで題名を「まちづくりしちゃり～」としました。『...しちゃり』とは博多弁で「...してあげて」という意味で、自転車(＝ちゃり【俗語】)に懸けてみました。つまり、「(自転車で)まちづくりをしてあげて！」という意味を込めています。

私が自転車生活を見直すようになったきっかけ

自動車免許を取得してからというもの、移動手段は自動車だと当たり前のよう思うようになっていました。私も確かに自動車を所有していて、長距離の移動・荷物の運搬時には基本的には自動車を利用します。しかし、市街地の自動車運転においては渋滞がつきものです。田舎育ちの私にとってそんな渋滞は大変厄介なものです。そんなことを考えていた折、折りたたみ自転車がブームとなり、私も一台買ってみようかと何気に買ってみました。すると、これが意外や意外、おもしろいのです。行動範囲は自動車に比べもちろん狭くなるのですが、その反面、今まで気づかなかったことが見えてくるのです。このような楽しみと出会い、私は自転車生活のすばらしさを再認識するようになりました。

街における自転車の現状

自転車は小回りが利き、気軽に足を止めることができます。その反面、気軽に止めることができるため、路上駐輪を増やしてしまうという面もあります。特に、福岡市天神地区は全国でも路上駐輪ワースト1のマナーの悪さがニュースなどで取り上げられています。そこで、以前から設けられている有料駐輪場を試験的に3時間以内無料で開放したそうです。すると、路上駐輪の数が減ったというニュースを見ました。しかし再び有料化としてしまうと、路上駐輪の数は元に戻ることが懸念されます。このように、「無料駐輪場を設ければ路上駐輪が減る」、「有料駐輪場を設ければ路上駐輪が増える」という「いたちごっこ」になってしまうでしょう。

また、高度成長期以降、自動車がどんどん利用されるようになりました。それに伴い自転車は軽視され、道路は、「人と自動車をいかに分離させるか」という概念で建設されたように思えます。自転車が走れる歩道もあれば、自転車で走れない歩道もあり、自転車はどちら就かずのところに位置しています。

自転車を用いたまちづくりの提案

前述のように、現在自転車はあまり重要視されていません。そこで自転車を
用いてまちづくりができないかと考えました。

まず、駐輪場を考慮した市街地再開発事業です。なぜ福岡市天神地区において路上駐輪が多いのでしょうか？それは有料駐輪場への敬遠がまず挙げられるでしょう。このこと以上に1日約6300台天神地区に乗り入れられる自転車に対して約4500台の駐輪場しか確保されていないという施設整備への対応の遅れが考えられます。そこで、今後市街地を開発するにあたっては駐輪場（駐輪スペース）の確保を考慮した建設を行うべきだと思います。

次に、公共交通機関と連結させたレンタサイクル事業です。最近JRの駅ではレンタサイクル事業を行なっているのを見かけます。各駅周辺には少なからずの観光地・名所があります。有名観光地ともなると駅からさらにバスなどで連結されています。確かにバスでの移動も結構です。しかし、たまには自転車に乗ってのんびりと目的地に向かうのもいいのではないのでしょうか？その途中で新しい発見をするかもしれないのですから。

これらの事業を成功させるためには自転車をより乗りやすいものにしなければなりません。歩行者用の道路として「歩道」、自動車用の道路として「車道」があります。これと同様、自転車用の道路として「自転車道」があってもいいはずです。今後の道路計画においては、この自転車道をも考慮した整備の必要があると思います。また、自動車にはGPSを用いた「カーナビ」というシステムがあります。それを自転車にも応用し「チャリナビ」というシステムを整備できないのでしょうか。そうすることにより自転車を使っただけの行動範囲がさらに広がり、新たな発見も生まれると思います。

日頃から自転車に乗ることを心がければ、必然的に自動車に乗る機会が減ることと思います。このことは、温暖化抑制、騒音・大気汚染等の地球環境保護につながるだけでなく、自分自身の健康増進にもつながります。さらに人と自然とのコミュニケーション、人と人とのコミュニケーションが生まれます。コミュニケーションが少なくなりつつある現在、自転車が作り出すコミュニケーションによって地域住民との交流が盛んになれば、立派なすばらしい“まち”がきっと完成することでしょう。